

北畠俊也



「(1部復帰が決まった瞬間は)勝手に涙が出てきた。もちろん勝って嬉しかったとかホッとしたとかいろいろあるけど、その中に引退もするので…あぁもうこれでみんなと野球ができなくなるのは寂しいな、っていうのはあった。(4年間を振り返って)本当に早かった。(印象に残っている試合は)個人的には、(今秋の)農大戦。それまで、全然打ってなくて(苦笑)。監督は4番に置き続けてくれてずっと使ってくれていたり、打ってなくても周りのみんなもいろいろ支えてくれて、お前には打率なんか期待してないからとにかく振れて。前の試合で笠間が本塁打を打ったり同じ4年生に刺激されたりして、その後自分が打つ事ができた。自分が打って勝てたので、あの時はうれしかった。(新チームに期待したいことは)僕は今までの駒大と力だけ比べてみたら弱いほうだと思う。何で勝てたのかなって言われたら、**みんなが同じ方向に向いて本当に同じ気持ちで戦っていたから**。必死になって戦ってほしい。1部も個人の能力の差はあるけど、何があるかわからないし、自分たちの世代より強くなると思う。僕らOBとしてサポートすることしかできないので、後は彼たちに頑張ってもらいたくない。(後輩に伝えたいことは)1年生も頑張らないといけなけれど、最上級生がしっかりしていれば、下級生は勝手についてくると思う。(同期に対して一言)**みんなと4年間野球ができて、すごく楽しかった**」

「(試合が終わった瞬間は)とにかくうれしかった。野球が終わることよりも、やっと1部に上がったという思いだった。(4年間を振り返って)大変なことばかりだったが、**一生の財産になる経験ができた**。(4年生としての1年間は)人生で1番充実していた年でもあり、辛い年でもあった。(印象に残っている試合は)最後の国土大戦。**試合の途中で泣いたのは初めてだったから**。(駒大野球部とは)誇り。(新チームに期待したいことは)神宮大会優勝。(後輩に伝えたいことは)リーグ戦を見にい。頑張って！(チームに残せたと思うことは)自分ではわからない。(卒業後の進路は)警視庁。野球はやらない。(同期に対して一言)このメンバーで野球ができて幸せだった。ありがとう」

前場源也



「(今の気持ちは)1部に上がれて良かった。(場内アナウンスを担当していたので)最後に加茂の名前を呼べて良かった。試合中は手に汗握ってずっとドキドキしていた。(4年間を振り返って)良かった。高校の時部活をやってなくて、マネージャーをやりたい。4年生としての1年間は)1番上になって、大変だった。(印象に残っている試合は)今日(国土大2回戦)。(新チームには)1部で頑張っってほしい。(後輩に伝えたいことは)下はできる子ばかりなので…(笑い)。」

栗原彩



女子マネージャー

「(試合が終わった瞬間は)達成感が大きかった。(4年間を振り返って)学生コーチをやって人よりいろんな経験をすることができた分、挫折も多かったけど**野球をやっている良かったこと1番**。(4年生としての1年間は)自分の就職のことも練習も…って感じだったので最後まで毎日不安だった。でも1年間周りの仲間が助けてくれたから4年生でものを終わることができたと思う。(印象に残っている試合は)入替戦。加茂が投げがいなかったら多分勝てなかった。個人的には立正の3回戦。僕はリーグ戦で投げられなかったけど、**弟がリーグ戦で投げるっていう夢をかなえてくれたから**。僕ができなかったことを弟がしてくれたのでうれしかった。(駒大野球部度は)人生でかけがえのないもの。楽しいことも苦しいことも寂しいことも一緒にしてきた。(後輩たちに期待したいことは)自分たちの色を出して行ってほしい。今の4年生の色は終わったから、新しい色を作っていくってほしい。…まあ昔より今ってことかな(笑い)。(後輩に伝えたいことは)僕はひじも手術したので、けがだけはしないようにしてほしい。そのために毎日努力して頑張っってほしい。(後輩に残せたことは)笑いの場を提供できたこと(笑い)。(卒業後は)青森県の平川市役所。(同期に対して一言)今まで最初から迷惑をかけてきてすみませんでしたっていうのが第1。でも、**こんな僕でも4年間見捨てずにいてくれてありがとうございましたって感じ**。…言えないけど(笑い)」

「(試合が終わった瞬間は)うれしかった。責任を果たせた。プレッシャーからの解放感っていうか…**達成感があった**。(4年間を振り返って)辛いこともいろいろあった。**仲間が存在、仲間の大切さがわかった**。仲間を支えられた。(4年生としての1年間は)最後が1番充実していた。試合に出られて、チームの成長を感じられた。(印象に残った試合は)1部昇格を決めた試合もそうだし、2部優勝を決めた試合も。(駒大野球部とは)大学生活の全てを捧げてきた。人生の糧になるし、経験や財産になる。(新チームに期待したいことは)1部に上がったことを通過点にして、**1部に残留するんじゃなくて岡を中心にリーグ優勝して日本一になってほしい**。(後輩へ伝えたいことは)野球はいいことばかりでなく辛く、苦しいことばかりだから、**苦しい時は諦めずに投げ出さずに壁に立ち向かって努力してほしい**。(自分がチームに残せたと思うことは)僕は他の人と違ってセレクションじゃなくて一般受験なので、一般受験でもできるということ。**どんなに苦しいことがあっても報われること**。(卒業後の進路は)一般企業。(野球は)クラブチームで。社会人野球に行く人にはプロになってほしい。(同期に対して一言)**最高の仲間達。離れていても仲間は繋がっている**。離れても仲間」



森田哲平

「(入替戦で加茂が投げたことは)あれはもう1番うれしくて。白崎(勇)が打たれたので、そこで加茂を出して…結果的にすんなり抑えるよりベンチの雰囲気良かったのかもしれない。(4年間を終えて)あつという間だった。辛かったことの方が多くて…でも**最終的にいい環境でいい経験ができた**と思う。(4年生としての1年間は)新チームになった時、最上級生ってこともあって言い合っていた。



学生コーチ 高野将司

最終的にはお互い理解して。僕が悩んだときは西川や民法にいろいろ話して。**支えあっていた**と思う。(印象に残っている試合は)【隣にいた笠間を指しながら】こいつが3ラン打った時(今秋の東農大1回戦)。(駒大野球部とは)どんな形でも、何があっても最後は勝つ。そういうチームだと思う。(新チームに期待したいことは)打つ・打たないとか、投げるにしてもいいピッチングをすとかよりも、**日頃からの私生活をしっかりしてほしい**。あと3年生は人数が僕らの時よりも人数が多いから横のつながりが上位にいくのに必要だと思う。**ぶつからなきゃ悪いところは直らない**。(後輩に伝えたいことは)新チームになって**1部でやれる幸せを感じながら準備して行ってほしい**。(後輩に残せたと思うことは)来年の学生コーチへの姿というか…去年はあぁだったなっていうのを思ってくれていれば。(卒業後は)宮崎県の田中病院で軟式野球を。選手として野球を続ける。(同期に対して一言)…ありがとう」

学生コーチ



山口貴一